

いざという時の備えは万全ですか？

羽幌町では9月2日に防災訓練を実施しました。災害はいつ襲ってくるかわかりません。自らの身の安全は自らが守ることが防災の基本です。この機会に家族で話し合っけて防災意識を高めましょう。



避難訓練の様子です。それぞれの避難場所に避難後、消防団や役場職員の誘導で二次避難所である中央公民館まで向かいます。



日赤奉仕団による炊き出し訓練で調理されたおにぎりが配給されました。



地震により負傷した方の救助訓練も行われました。このまま中央公民館まで搬送されます。

今年も防災訓練が実施されました

町民のみなさんが参加する大規模な防災訓練としては今年で3回目となる羽幌町防災訓練が、防災週間（8月30日～9月5日）にあわせて実施されました。今回行われた訓練は震度6弱の地震発生を想定した避難訓練、炊き出し訓練、消防による火災防ぎょ訓練です。

今回、避難訓練の対象となったのは川南地区。参加したみなさんにはそれぞれ羽幌小学校体育館・グラウンド、老人憩いの家、羽幌保育園、幸町コミュニケーションセンターなどに避難してもらい、次に

「避難が長時間にわたるといふ想定で、二次避難所である中央公民館大ホールまで移動してもらいました。中央公民館では、日赤奉仕団による炊き出し訓練が今年も行われ、災害救援用炊き出し袋を使って調理されたおにぎりが配給されました。

その後、中央公民館で漏電による出火を想定した火災防ぎょ訓練が実施され、消防隊の手際の良い消火活動をみなさんで見学。ケガ人もなく訓練は無事終わり、閉会の講評で舟橋町長が「日ごろからの備えを大事にしてほしい」と呼びかけていました。

みなさんもこの機会に、ご家庭で防災について話し合ってみてはいかがでしょうか。「羽幌町防災のてびき」も参考にしてみてください。



中央公民館で漏電により火災が発生したとの想定で、火災防ぎょ訓練が実施されました。また、職員1名を屋上から救出する訓練もあわせて行われました。





あっ! 災害だ!! いざという時は!

まさかのためのしっかり対策。日頃から非常持出品の準備と連絡先・避難先の確認をすることが、「あわてず落ち着いて」対処するカギです。いつおそってくるかわからない、あらゆる災害に備えて日頃から家族会議を開いて、話し合っておくとよいでしょう。

避難準備

非常持出品 *あらゆる災害・非常事態に備えて今一度確認してみましょう。

貴重品



ラジオ



照明器具

衣類



非常用食品



道具類



救急・衛生用品



備蓄品 *備えあれば憂いなし。

燃料

卓上コンロ、スベアガス、固形燃料など

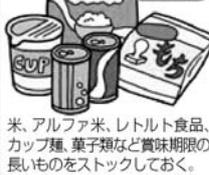


洗面具

できれば歯ブラシやタオルの用意も。



食料品



水



赤ちゃんがいる場合

母子健康手帳、粉ミルク、ほ乳ビン、紙おむつなど

消火器

消火器など



声の伝言板 災害伝言ダイヤル

被災地域内やその他の地域の方々との「声の伝言板」です。171にダイヤルしますと、ガイダンスが流れます。この指示に従って番号をダイヤルしてください。

171番



台風がやってきた!

あなたの家の風水害対策は大丈夫? 日頃の管理がいざという時の命綱。気象情報のチェックと、地域の連携も忘れずに。

風水害

ものしりコラム～台風編～ 風の速さと被害の程度



平均風速 15~20m/s
風に向かって歩けない状態。子供は飛ばされそうになる。小枝が折れる。

平均風速 20~25m/s
煙筒が折れ、屋根のトタンがはがされる。TVアンテナが倒れる。

平均風速 25~30m/s
樹木は根こそぎ、雨戸がはずれ、しっかりとしていない家は倒れる。

1 ラジオ、電池の備えを!

・停電でテレビやラジオから情報が得られなくなるといふことのないように、トランジスタラジオ、電池の備えを。



2 防災広報を聞く

・防災関係の広報を聞きのがさないよう、テレビなどのボリュームは控えめに。



3 早目の準備を!

・情報を軽く考えないで、早目、はやめの準備と対応を。



4 すみやかな行動を!

・特に傾斜地、かけ、河川の付近では注意が必要。避難警告が出たらすみやかに行動を。



こんな時どうする? 洪水時の避難方法

水位の確認
歩ける深さはまた下まで。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救助を待つのが安全。

足元に注意を払う
裸足、長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴をはき、長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら。

子供から目を離さない
はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難。特に子供からは目を離さないよう細心の注意を。

こんな時どうする? 雷の被害を避ける

あわてて外に出ない
一番安全なのは車の中や鉄筋、鉄骨のビルの中。遭さるまで中で待機を。

姿勢を低く!
平地では姿勢をなるべく低くして、大人数にいる場合はかたまらないで散らばるように。

配電線から離れる!
避雷針のない家では、壁や柱に寄りかからない。電灯線、電話線、アンテナ線などの引き込みからは1m以上離れて。

水害被害を最小限に抑えるための準備チェック

- 屋根・外壁・ブロック塀・窓ガラスの亀裂、ひび割れ等の点検
- ベランダの物干竿、植木鉢等の飛散対策
- 雨戸のない窓やガラス戸に、板を打ちつけ飛来物による破壊から守る
- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオ、予備電池を準備する
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品を用意する
- 外出はひかえ、家族揃って気象情報を注意深く聞く
- 飲料水の貯め置きや緊急食品のストックなどの用意をする
- 浸水の恐れのある所では、家財道具や食料品を2階などに移動する
- 病人や乳幼児、身体の不自由な人を安全な場所へ避難させる